

公民館報

# おがわ

小川村ふるさと通信

No. 227  
(2022 年春号)



春を待ちわびて

(写真 松本博充)

- 小川に生きる
- 成人式
- サークル紹介
- 分館紹介 - 瀬戸川分館 -
- ここに生まれた
- 図書だより
- 小川短歌会作品





### 松本 孝子さん (夏和田)

小川村に生まれ育ち、県外に三年ほど生活したことはありますが、結婚、子育てを経て何十年が過ぎました。

あの頃が良かった、この頃が良かったと思うばかりですが、これまで私が関わらせてもらったことを振り返ってみたいと思います。

#### ☆資格を活かした在宅訪問☆

県外で生活した時、歯科衛生士の資格をとり歯科医院で勤めていましたが、結婚を機に辞め子育てをすることになりました。子育てがひと段落した頃、病気で片麻痺や寝たきりになった方の口腔内の診察、衛生指導を行う歯科の在宅訪問の仕事の依頼がありました。口腔内のトラブルを解決するため、歯がなくても食べられるようになって欲しい、介護者の負担が軽減できるようにと、保健師、

歯科医師、歯科衛生士で訪問し診察や処置、歯磨きなどの指導、補助用具のアドバイス、口腔体操を教えたりしました。口臭や歯肉炎など口腔内のトラブルが改善し介護者に喜んでもらえた時は資格を活かし役に立つことができ嬉しかったです。

#### ☆ボランティア活動☆

平成六年から今も続けているボランティア活動があります。「配食弁当サービス」です。

サンリングが開設した時に一人暮らし高齢者や高齢者世帯、寝たきりの方などにお弁当を配達するボランティア募集がありました。子育て中でしたが、子どもと一緒にドライブがでらできると思い活動することにしました。最初の頃は、村に育ったとは言え、知らない地域もあり地図を片手に村内を回りました。

「こんにちは。配食サービスです」と声をかけ返事がない時もあり、外から声がしてほっとしたころもしばしば。単にお弁当を届けるだけでなく安否確認を兼ねての配達。時にはお弁当を子どもから手渡し、笑顔で受け取ってくれ、



配食ボランティア

子どもとのやり取りを喜んでくれました。子どもが保育園に行くようになり、私一人で届けるようになる子どもを心配してくれこの様な交流も良いなあと思えました。健康で運動できるうちは続けたいと思います。

### ☆子育てサークルに助けられて☆

少子化で近所に子どもと遊んでくれる大きな子どもたちがおらず家で親子で過ごす中で抱える悩みをどう解決しようと思っていたところ、公民館、保健センター主催の「スクスク教室」があり参加しました。保育園に入園する前の三歳未満の子どもが集まる場所で保健師や子育てボランティアの先輩お母さん方が子どもと遊んだり、読みかせをしてくれたり子育ての経験話を話してくれたりと一時でも体も気持ちも休まる時間を作ってくれ心を軽くしてくれました。その後、その教室に来ていた先輩お母さんから「自主的に週一回集まっているから来てみたら」と声をかけてもらい参加した会が『ひよこサークル』でした。

ある時、『外で安心して遊べる場所がないかな』という声があり、知人でキャンプ場をしている方がいたの



スクスク教室でパチリ

でお願いし、お父さんたちの協力もありキャンプ場の一部に遊具を設置し道の整備もして『ひよこ広場』ができました。木の実を拾ったり、ブランコや鉄棒で遊ぶ姿、虫を探し怖いと泣く姿など子どもたちの様子を笑いながら見守ることができるようになりました。



みんなで作った遊び場で

いお母さんたちにとっても息抜きができる場所となりました。そして、村外のサークルにも声をかけ焼きいも大会もやり楽しかったです。その後、『びっくらんど小川』ができ、そこに子育て中のお母さんの声を取り入れてもらい遊び場が設置されたり、保育園に子育て支援センターができた、時代の流れで形は変わりましたが、今も子どもと親が楽しめ、息抜きができる拠点があり良かったです。

今回これまでのことを振り返り、好奇心があり、何とかがしたいと様々なことに取り組んだ若さを感じます。ここ数年、米、豆、みそ、醤油と家事に一生懸命です。今年には年女なので新たなチャレンジを考え、忘れかけていた村内のことに目直し何か取り組めたらと思います。

# 小川村成人式

令和4年1月3日。小川村公民館で令和4年小川村成人式が行われました。マスクの着用や消毒等、感染対策を徹底しながら式のみ開催となり、平成27年度小川中学校卒業生総勢27名のうち22名の新成人が出席し、人生の節目となる二十歳の門出を祝いました。

会場に到着した新成人の皆さんは、久しぶりの仲間との再会を喜び合い、穏やかな雰囲気ですて迎えていました。式では、引き締まった表情で、来賓の方々や仲間の言葉を真剣に聞き、これからの人生に期待を膨らませる真っ直ぐな姿が印象的でした。式が終わると緊張もほぐれ、担任の伊藤先生や仲間との時間に自然と笑顔が溢れ、新成人の皆さんの思い出に残る成人式になったようです。

この日の様子を、新成人の先輩であり、現在結婚式場で働いている成就出身の和田勇巳さん（23）が撮影し編集したダイジェストムービーを、6ページのQRコードよりご覧いただけます。感動的な作品となっておりますので、ぜひご覧ください。

新成人のスピーチを一部抜粋して掲載します。

## ♥ 新成人代表挨拶 伊部 泰生さん

新型コロナウイルスの流行により、日々の生活が厳しく制限され、多くの不安を抱えたまま生活を送っています。そのような中で変わらずに在るのが私たちの故郷、小川村という存在です。どれだけくじけそうになっても、私たちには小川村という帰ることが出来る場所があり、その場所ですべ出会った仲間があり、支えてくれた地域の人があります。これからの生活がどれだけ変化し続けても、小川村という場所は私たちにあって変わらぬに在り続けているという事実を感じることができました。また、今の暗

い厳しい現実を私たちは後ろ向きに捉えず、感じた気持ちや思いもすべて「経験」としてこれから社会で生きていく糧にしたいと思います。

♥ 記念論文 田中<sup>たなか</sup> 愛咲<sup>あみさ</sup>さん

私の人生においての目標は社会課題を私にしかできない方法で少しでも解決に近づけることです。現在は、子どもたちのためになる取り組みとして生まれた環境によって生き方が左右される現状を打開し、イベントを企画しています。私は小学校時代、東日本大震災の翌年から被災地を訪問し復興支援で和太鼓を演奏したことや水泳の大会・ピアノの発表会で特別な緊張感を味わったことが印象深いです。小川村でそれらの習い事ができる環境が整っていたからこそその経験が私の感受性を豊かにしてくれました。子どもたちがどんな環境に置かれていても特別な経験ができる機会をイベントという形にして提供していきたいです。

♥ 記念論文 清水<sup>しみず</sup> 玲名<sup>れいな</sup>さん

私は高校まで小川村で過ごし、現在は千葉で姉と2人暮らしをしながら美容学校に通っています。入学した時はその環境に慣れず、ストレスが溜まってしまうことが多く、学校が嫌で泣いていた私に優しく声をかけてくれたのは家族でした。こまめに連絡をとってくれたり、私の思っていることを聞いてくれて慰めてくれたり、いつでも帰っておいでとってくれるました。今頑張れているのは家族がいてくれるからだと思っています。私はこの春から美容師になります。学生のころよりも大変なことも増え、くじけそうになることも多くあると思います。今まで以上に努力もしていかなくてはいけないと思っています。支えてくれた人のためにも、たくさん恩返しができるように毎日を大切に過ごしていきたいと思っています。



おしゃれな新成人たち。



担任の先生と肩組み。  
今日は無礼講！

best  
friend



congratulations!



Digest  
Movie



1 ダイジェストムービーQRコード



夢  
羽ばたけ  
新成人!

夢  
羽ばたけ  
新成人!



夢  
羽ばたけ  
新成人!

夢  
羽ばたけ  
新成人!



夢  
羽ばたけ  
新成人!

夢  
羽ばたけ  
新成人!



サークル紹介（参加してみました!）

## 幸福蛙の福太郎工房

今回は大きな口を開けて見る人を笑顔にさせてくれる蛙の絵でおなじみ松本清仙さんの『幸福蛙の福太郎工房』にお邪魔させていただきました。

リアル系な蛙の福太郎だったら遠慮させていただくところですが、工房には幸福蛙が障子にいたりあちこちで迎えてくれてほっこりしました。

松本さんは元から蛙が好きで描き始めたわけではないそうで、筆慣らしの為に書いていた線がだんだん蛙になっていったそうです。ちなみに同級生や担任だった美術の先生からは「絵そんなに上手だったっけ?」と言われたそうです。

描く時は「何を表現したいか」「見てくれた人が楽しくなるように」を心がけていて、どんなシチュエーションでも福太郎は対応してくれているそうです。学校やカラオケに行ったり、ラーメン屋さん、酒屋さん、大工さんになったり、お友達のために描かれていたの

はぶどう農家でした。善光寺の御開帳、小川神社の御柱祭も描かれています。文化芸能祭等で描いてもらった方もいらつしやるかもしれませんね。

まず頭の中でイメージ画を浮かべてから描いていくそうです。

ポイント

①手前に見えるところから描き始め（福太郎なら口）

②真っ直ぐな線は真っ直ぐ柔らかい物は柔らかく

③食べ物には美味しく

④ポジティブに心も楽しく

⑤絵空事になってもいいです。

実際、福太郎

を始め、手にしている物、橋や切り株などを描いたら、



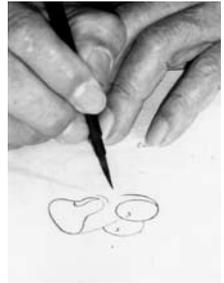
濃淡を付けるのですが濃くするところはあまり多くならないようにしているそうです。

また、イメージとちよつと違うと思つた時は、その絵を修正して改めて描き直すそうです。幸福蛙が手にしたり身につけている物で子どももお年寄りか見えてきます。

最近では描く機会が減っているそうですが、『河童の幸太郎』も元気にしているそうです。

松本さんと福太郎に「むかえる」をして頂き、福太郎以外に日本画や岩絵の具、膠（にかわ）、神様、しめ縄、お祭り等の知らなかったお話もたくさんしてもらい、また、松本さんと福太郎に「ぶじかえる」様に見送って頂き、ありがとうございました。

蛙が六匹は「迎える(六蛙)」



馬が九頭は「上手く(馬九) いく」どこかで見かけたらこの語呂合わせ思い出し下さい。工房の詳しいことは金剛寺さんか公民館にお聞き下さい。



第四十九回日本画展 日本画会賞「生命」 松本寿仙画



# こころに 生まれて



令和3年8月30日我が家に可愛い女の赤ちゃんが誕生しました。

私と主人は私の地元大阪で出会い、その後仕事の関係で長野に移り小川村で籍を入れました。

都会とは全く違う田舎での生活。最初は不安も感じま



## 四季を感じながら子育てを

西本 奈央さん（鶴牧田団地）

したが、春は山菜を探しに朝から山へでかけたり、湖でカヌーをしたり、秋はきのこと狩りに勤しんだり、都会では感じることのない素晴らしい体験がこの村には溢れていました。

そんな毎日を過ごす中お腹に赤ちゃんがいることが分かりました。つわりもほとんどなく穏やかな日を過ごすことができました。

もともと子どもは大好きな私でしたが、改めて十月十





日お腹の中で赤ちゃんを育む体験は、ますます我が子を愛おしく思うとても神秘的な時間でした。お腹に話しかけてみたり、夫と二人でどんな顔か想像してみたり、これから待ち受ける三人での生活に胸を膨らませました。逆子が最後まで治らず帝王切開での出産になりましたが無事元気な赤ちゃんを出産することができました。初めて我が子を見た時は感動と会いたかった思いがかさなり胸がいっぱいになったのを思い出します。

自然が大好きな夫の思いもありその季節の草花を色々考えた結果「花」と名付けることにしました。

日々の育児は、想像以上に子を育てる責任や不安など

大変な毎日ですが、夫のサポートや同年代ママとの会話や村の支援、何より我が子の可愛さで毎日



楽しく育児に奮闘しています。おっぱいだと泣かれ、抱っこしろと泣かれ、おむつ替えると泣かれ毎日へとへとになる時も彼女の笑顔を見ると全てチャラになってしまふ。赤ちゃんってすごい！



この村で四季を感じ様々な経験ができることを今からとても楽しみです。

村民の皆様、これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

# 冬のおはなし会 &



# クリスマスパーティー



12月19日に図書委員会主催の『冬のおはなし会&クリスマスパーティー』を行いました。

絵本の読み聞かせでは、感染対策として密集した空間にならないように工夫しました。

今回は、クリスマス前ということでフィンランドの伝統品ヒンメリとクリスマスカードを作りました。カラフルなストローと糸を準備して子ども達に選んでもらい作り始めましたが、覚えるのが早く二つ目三つ目と色合わせを楽しみながら作ることが出来ました。クリスマスカードも飾り付けをして素敵に出来上がりました。

昨年は中止になり実施されなかったので、クリスマス会をみんなで過ごす事が出来て嬉しかったです。

来年度も安全に参加して頂けるように工夫しながら、図書委員会では楽しいイベントを企画していきたいと思っておりますので、よろしくお祈りします。



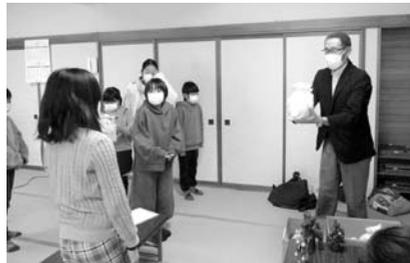
今回は3密をさけ、インターネットを利用した読み聞かせを実施しました



カラフルで素敵なヒンメリが出来ました



大切な人へのメッセージ、なんて書いたのかな？



館長サンタさんから  
サプライズプレゼント！

## 図書委員のおすすめ本

新生活に向けて心を軽くして、前向きになれる本を図書委員のみなさんが紹介してくれました。



### 『たのしか』

「～種～ずっと前にまいた種が今頃になって芽をふいたー。」

小さな積み重ねや新たな挑戦が未来に広がる文章でした。新生活に向けて前向きになれる言葉が沢山つまっている一冊です。



### 『続 生きかた上手』

待ち遠しい春ですが、悩みを抱えていたり、新年度や新生活への期待や不安で思いっきり笑顔になれない場合もあると思います。この本は中年期を迎える方々を対象にした雑誌『いきいき』で連載されていたものですが、年齢を問わず、前向きな考え方を提案してくれます。

この本で少しでも心が晴れたら嬉しいです。



### 『人生はニャンとかなる!』

### 『人生はワンチャンス!』

開いたページに心にささる一言が。

心をスッと軽くしてくれる、背中を押してくれる言葉がきっと見つかります!!

## ブックスタート

～生後6ヶ月の赤ちゃんへ本のプレゼント～

『子どもに読んで聞かせたい本は?』

令和3年3月から  
令和3年5月生まれの赤ちゃん

「  
バーババシリーズ  
アネット  
チノン」



千野  
ちの  
花寧  
はるね  
ちゃん

「  
なかがわ  
りえこ」



中村  
なかむら  
菜々実  
ななみ  
ちゃん

## 分館紹介

# 瀬戸川分館

## 瀬戸川区民の

## 繋がりを深める分館に

瀬戸川区は平成十八年に川上区と合併した際、七十戸になった戸数が今年度は四十戸にまで減りました。当然の様に毎年、高齢化は進み、分館行事参加者の数も減って行きます。

さらにここ二年ほどは、全国的なコロナの感染で分館活動がほとんど出来ていません。

そこで、以前行われた分館活動をご紹介しますと思います。

毎年五月と三月に分館報を発行していますが、



イベントが出来ず六十三号まで発行されて止まっています。

六月、以前は近隣探訪と題して小川村や近くの市町村のお寺や名所旧跡などを巡り、近くに住んでいながら意外と知らないことなどに触れ学んだ後、食事をしながら親睦を図る活動を行っていました。近年は大洞高原でのマレットゴルフ大会で体を動かした後、瀬戸川に戻り表彰式、昼食を取りながら、親睦を図りました。

八月のお盆明けには『一杯やらずわえ』と題して瀬戸川グラウンドで地域親睦のための野外バーベキュー大会を行っています。バーベキューを囲みながら飲み食べゲームにカラオケなどで親睦と暑気払いを図っています。

十一月には、二年に一度の瀬戸川区民旅行会を行っています。二年前の旅行会



では上諏訪温泉へ出かけました。温泉にゆつくり浸かった後、ご馳走とお酒とカラオケで大いに盛り上がり、帰りはバスの揺れでウトウト、満足な一日を過ごしてきました。

今年度は旅行会の年でもあり毎回、旅行会を楽しみにしている人も多く「今年も行きたいなあ」と言われておりましたが、残念ながら中止の決断することとなりました。

更に二月は他分館交流会を実施してきました。

二年前は古馬川分館との交流会を行い、午前中はピックランドでの軽スポーツ、昼からは「くつろぎの郷」で長野消防署小川出張所所長の講演会、さらに真打の落語家、春風亭勢朝師匠による落語会、その後交流会と盛りだくさんでした。体を動かし、頭をチョット使い、さらに大声で笑い、カラオケとアルコールで喉のストレッチと、大いにストレスの発散が出来ました。交流会は近所に住んでい



ながら、区が違うことであまり顔を合わせることのなかった知り合いと、「やあやあ元気してたかえ」と話が弾む会になります。

同時に人権月間と題し人権ビデオを見ながら、人権についても考える機会としています。

その他に「皆で議会傍聴」と題し年三回程、小川村議会の傍聴を行いました。一人ではちょっと敷居の高い議会に分館が声を掛け、誘い合つて議会傍聴に行き、実際に議会で何が話し合われているのか、村はどう進もうとしているのかなど、生の情報を知る良い機会になりました。

分館活動は瀬戸川区の潤滑剤、『要』であると考えます。とかく小さな集落にこもりがちな区民が分館活動を通じて顔を合わせ、親睦を図る機会となり、区全体の繋がりが深まり、助け合いが生まれます。それがコロナ禍で集まることも出歩くことも出来にくい状況にあります。早くコロナが治まりみんなが集まれる日が来ることを願っています。



瀬戸川分館主事  
中村 和正さん



## 《小川短歌会作品》

◎子も孫も忙しく来ては帰り行く老の孤独を知る  
由もなく  
大日方泰子

◎早や七日天つく炎に頭たれ祈るは豊作家内安全

金木 初義

◎小寒の凍てつく朝に小雪舞い陽差しの中にアル  
プスは映ゆ  
松本富貴枝

◎お迎えに来ましたと言う玄関に「ずく会」出席  
の車に乗り込む  
大日方弘子

◎元旦に家族揃いて鎮守様に足元気づかい拜み来  
たりぬ  
大日方房子

◎可も不可もなく過ぎ来しか 館頭の歌を担いし  
二十四年は  
稲葉 利郎